

スピーカーアキュライザーの導入(1) －仕様と評価計画－

1. 始めに

インフラノイズ社から、スピーカーアキュライザーSPA-7が発売されたとの情報を入手し、すでにデジタルアキュライザーDACU-500とUSBアキュライザーUACU-700、アナログアキュライザーAACU-1000、バランスアナログアキュライザーBACU-2000およびヴォリュームアキュライザーVRA-7、ターンテーブルアキュライザーTACU-1など、一連のアキュライザーシリーズを使用しており、その効果には信頼を置いていますので、今回の新製品に期待して早速導入することにしました。

2. スピーカーアキュライザーSPA-7の情報収集

これらについて、すでに[Web情報紹介【2023No.45】](#)でも紹介しています。インフラノイズ社のホームページやステレオ誌3月号記事および通販サイト記事など、ネット上に得られた仕様などの情報の要約は、[Web情報紹介【2023No.45】](#)と重複しますが、下記のとおりで、詳細はインフラノイズのHPの取り扱い説明書記載のとおりですが、引用すると長くなりますので、予告に記載された開発の意図を引用します。



「SPA-7 の効果ですが音楽的再生の向上についてはあらゆる音楽要素に有効で劣化するところは有りません。あえてオーディオ的に SPA-7 の効果を表現してみます。かなり誤解を招く可能性のある表現になってしまうのを御承知になり以下をお読み下さい。

デジタル機器でクロックを交換することで得られる改善のような効果が有ります。まるでスピーカーに高精度クロックを繋いだような感じです。デジタル機器のクロックを交換することで音質向上はあるが、元の録音の音質を変化させることも有ります。SPA-7 のクロック改善と似た効果は元の録音の音質は変化させません。優秀なスーパーツイーターを付加したような高音の伸びが得られます。クロック交換と同じくツイーターの付加は和音再生能力を劣化させることも多いですが、SPA-7 は和音再生能力と高域の伸びの関係を崩しません。大口径のサブウーハーを追加したような効果も有ります。サブウーハー追加は殆どの場合オリジナルスピーカーシステムのバランスを崩し、ハーモニーの再現性を劣化させます。SPA-7 はサブウーハー追加時の低音の伸びと同時に音程感も向上、バスのメロディーが聞こえやすくなります。どのようなデジタルソース、Youtube からハイレゾ、DSD までデジタル音源が減少、アナログ再生と錯覚するほどになります。これらのソースが同じように聴こえるのでは無く、今まで聴きづらかったソースでも音楽的な再生となります。矛盾するようですがソースの優劣は今迄より以上に把握出来るのに、音楽的再生はどのソースでも合格レベルであるとのマジックが起こります。名器のスピーカーの持つ個性、優秀性が今まで以上に現れます。どんなスピーカーでも同じ音にしていまい個性が消えるのでは無く、個性の中で音楽再生、演奏再現が向上します。柔らかい音はさらに柔らかく、力強い音はさらに力強く音楽表現、演奏のダイナミックレンジが拡大します。」

また、ステレオ誌 3 月号にも紹介記事が掲載されています。

<https://www.ongakunotomo.co.jp/magazine/stereo/>

この内容が、上記インフラノイズのホームページにも引用されています。

これらの内容を一言で言うと、「音楽性を向上させる整音効果」ということとなります。

開発の動機は、権威あるモニタースピーカーのパフォーマンスを実現できないかというチャレンジであったそうです。

取り扱い説明書には、使用方法や使用上の注意が指摘されていますが、このことは次報の設置のところ、実際の使用法とともに紹介します。

仕様は次のとおりです。

内容：2セット入り

外形寸法：45mm×93mm×203mm

重量：240g

構造：振動吸収フローティング構造
左右入力端子、左右出力端子

3. スピーカーアキュライザーSPA-7の評価計画

まずは、スピーカーシステムを FAL C90EXW に固定し、音源と再生経路を替えて試聴していきます。

さらに結果をみて、スピーカーシステムを FAL C90EXW から他のシステムに替えて確認することを検討していきます。

以上